

令和3年度 さいたま市立第二東中学校 自己評価書

校長 春山 悟 印

1 学校で設定した「令和3年度の目標」及び関係する「評価項目」について

- (1) 学校教育目標～輝く笑顔 二東生～ <目指す生徒像>笑顔あふれる生徒
- (2) 学校経営方針
 - ①「生きる力」を育む教育課程の編成 (Grit・Growth)
 - ②「よい授業」を目指した授業の改善 (Grit・Global)
 - ③豊かな人間性を育む心の教育の充実 (Grit・Global)
 - ④9年間の連続性のある学習指導と生徒指導 (Growth)
 - ⑤心のサポート体制の推進 (Grit・Global)
 - ⑥安全で安心な学校環境づくり
 - ⑦家庭・地域と連携協力し信頼される学校づくり
 - ⑧健康で明るく、互いに磨きあう教職員
 - ⑨「報・連・相・確」を徹底する組織

Grit「やり抜く力で真の学力を育成すること」
Growth「一人ひとりの成長を支え、生涯学び続ける力を育成すること」
Global「国際社会で活躍できる人材を育成すること」

2 評価結果について

- ・「教育課程の編成・実施状況」については、教職員のアンケートにおいて、肯定的な回答が93.5%であった。コロナ禍ではあったが、教職員と生徒、PTA等で協力して教育活動を行った成果が伺える。
- ・「グローバル・スタディ」の授業では、4技能をバランスよく育成することを目指しているが、GTECにおいて「話すこと」が強みとして評価されており、ALTを活用した「スピーキングテスト」の成果が伺える。
- ・「目標を持って、楽しく学校生活を送っている」について肯定的に回答した生徒は、昨年度より1.6ポイント増加し、93.4%となった。コロナ禍の中、昨年度に比べて、いくつか行事ができたことで、前向きに学校生活を送ることができた様子が伺える。
- ・「相手を思いやって、学校生活を送っている」について肯定的に回答した生徒は、98%を超えており、今現在、コロナ禍ということもあり、日常生活や学校生活において、『潤いの時間』で学んだスキル等を意識している成果が伺える。
- ・教育相談部会では、「報告は短く、対応の検討は長く」を意識し、取り組んでいる。その結果、「先生方は、相談しやすく、相談したことに適切に対応している」について肯定的に回答した生徒は、90%であった。一方、同設問の保護者の肯定的な回答割合は、86.2%とわずかに低い。今後、信頼される学校を目指して、さらに、家庭や地域の声により耳を傾ける必要がある。
- ・安心メールのアンケート機能を使った出欠席連絡、アンケートフォームを使った学校評価の実施など、業務の効率化を図り、ICTを活用した業務改善を推進することができた。

3 次年度に向けた具体的な改善策について

教科指導に関しては、自校で作成している「学力向上ポートフォリオ」をもとに、PDCAサイクルに基づいた授業改善を継続する。授業では、1人1台端末をより活用できるように、ICTを活用した授業を積極的に取り入れ、タブレット型コンピュータを効果的に活用した「個別最適な学び」の実現に向けた指導方法の工夫改善を図る。

いじめ防止に関しては、毎月の簡易アンケートの実施を通して、いじめ認知に対する意識の高まりと、解消に向けた継続的な取組の意識の高まりがみられた。今後、認知件数を増えることを恐れず、適切に認知し、解消に向けて学校全体で取り組むことのできる風土を養う。そして、心のケアとサポートを組織的に行える体制を整え、子ども達が生き生きと学校生活を送る笑顔溢れる学校環境を構築する。